

昭和女子大学

キャリアデザイン・ポリシーとキャリア科目の体系

学生の皆さんへ

昭和女子大学は、学生の皆さんが、在学中に“キャリア”をデザインする力を養い、卒業後は自分に適した職業に就いて、社会人・職業人として自立した人生を歩めるように、キャリアデザイン・ポリシー（社会的・職業的自立に関する方針）を策定し、キャリア教育を推進しています。

“キャリア”は、卒業後の就職に止まるものではありません。“キャリアデザイン”は、あなたの長い人生をどのように生きていくか、その中心に職業・就業において人生を計画することです。

昭和女子大学

■キャリアデザイン・ポリシー（社会的・職業的自立に関する方針）

1. 本学での学修と実践を通して、継続就業や再就業に係る職業意識・職業観を磨き、長い生涯にわたる自分の生き方を設計するキャリアデザイン力を養う。
2. 学科の「キャリアデザイン・ポリシー」に基づき、「専門教育科目」を体系的に履修することによって、その特性を活かした職業・就業分野で社会的に自立できる職業人を育成する。
3. 国際的な視野と豊かな教養、職業上の倫理観を身につけ、自立した人間として21世紀の男女共同参画社会を担う人材を育成する。

■キャリア科目の体系

本学における「キャリア科目」は、「キャリアコア科目」を含む一般教養科目および各学科の専門教育科目の総体から成り立っています。皆さんは、これらの科目を「キャリアデザイン・ポリシー」に沿って体系的に履修することにより、専門を活かした職業に必要な知識、技能、能力や態度を修得します。

1. 全学共通キャリアコア科目（一般教養科目）

女性として、長い生涯にわたるキャリアをデザインするうえで必要な基礎的知識と方法について学びます。

- ◇「キャリアデザイン入門」（必修）1年前期
 - ◇「女性の生き方と社会」
 - ◇「女性とキャリア形成」
 - ◇「企業と社会のルール」
- （1科目選択必修）2年～3年前期
- （選択）3年・4年後期

2. 一般教養科目：キャリアデザイン・ポリシーと履修の体系

人間や歴史、社会、文化、さらにはそれらを取り巻く環境、自然についての知を拡げ、それによりものの見方、考え方の基盤を築き、自らの視点に立って判断し、行動できる力を身につけます。

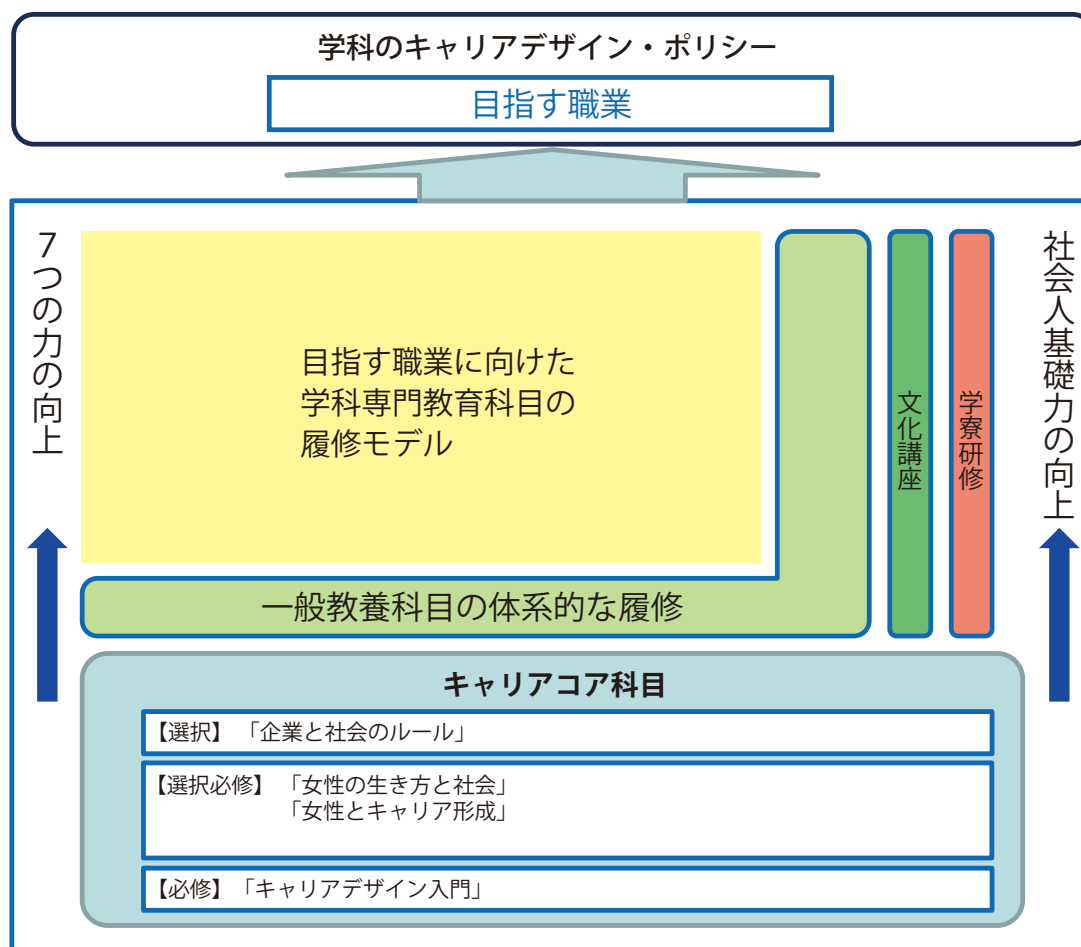
一般教養科目のキャリアデザイン・ポリシーと一般教養の体系については、3～4頁を参照して下さい。

3. 専門教育科目：学科のキャリアデザイン・ポリシーと履修モデル

各学科は、独自のキャリアデザイン・ポリシーを掲げ、専門教育科目の特性を活かした職種・職業（目指す職業）と、それらに就くために適した「履修モデル」を具体的に提示しています。

各学科の「目指す職業と履修モデル」を履修計画の目安として活用して下さい。

目指す職業とキャリア科目の体系



夢を実現する7つの力

大学時代に身につけておきたい力、仕事や生活に必要な力を「夢を実現する7つの力」とし、在学中に身につけ高めておくべき力を具体的に示しています。これらを目指し、持っている力をバランスよく高めていきましょう。

- (1) グローバルに生きる力
- (2) 外国語を使う力
- (3) ITを使いこなす力
- (4) コミュニケーションをとる力
- (5) 問題を発見し目標を設定する力
- (6) 一歩踏み出して行動する力
- (7) 自分を大切にする力

心理学科

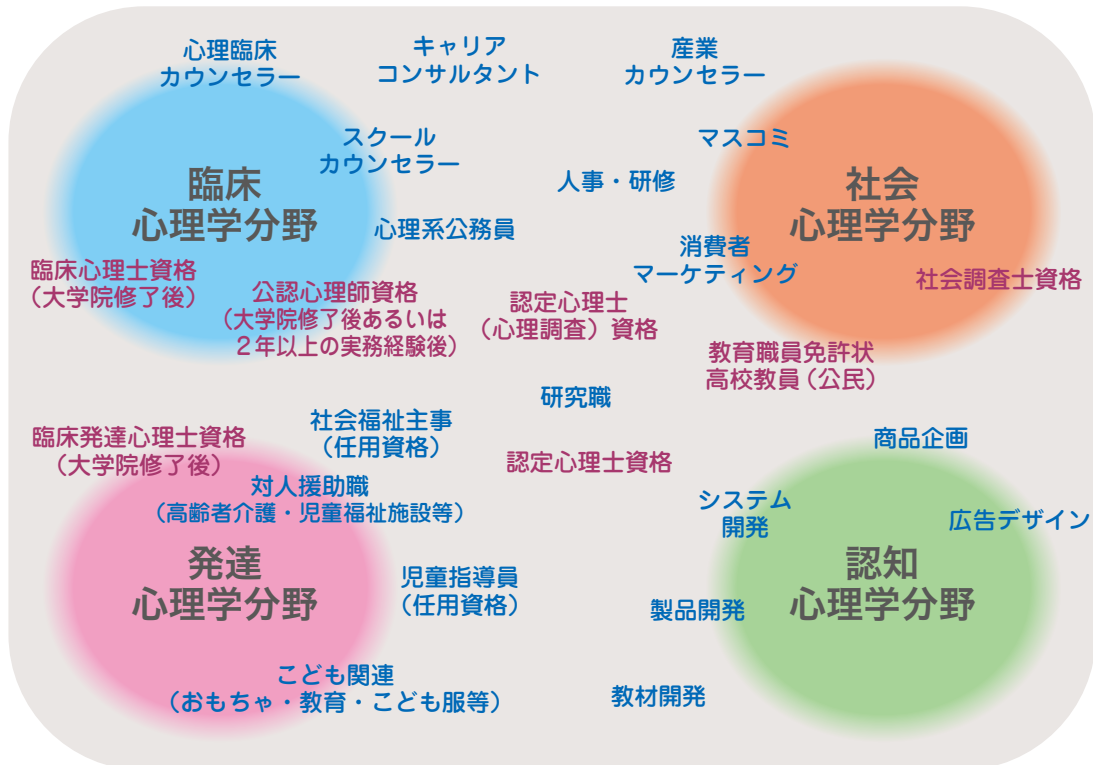
キャリアデザイン・ポリシー

心理学の知識と技能を身につけ、人と社会を取り巻く現実の諸問題に心理学を活かしてアプローチできる、次のような人材を育成する。

1. 発達過程における心理的变化や多様な個人の心理的特徴への理解を踏まえて、さまざまな立場や年齢の人と円滑なコミュニケーションがとれる。
2. 人の認識と行動についての知識と心理学的実験や調査のスキルを用いて、製品やシステムのデザインに有効な情報を提供できる。
3. 社会調査のスキルを用いて、消費者ニーズを統計的に把握し、新商品の企画や合理的な販売戦略についての情報を提供できる。
4. 対人上・組織上の課題に対して、心理テストや心理トレーニングなどの技法を用いた有効な解決法を提案・実行し、社員教育などに貢献できる。
5. 心理支援の必要な人や組織に対して、心理的アセスメントや支援法の知識と技能を活かした援助を行うことができる。

■心理学科での学びと関連する職業

心理学はさまざまな分野からなり、卒業生の職業も多方面にわたる。本学の心理学科には、臨床心理学・社会心理学・発達心理学・認知心理学の4つの分野の授業があり、各自の就業イメージと近い分野の授業を選択して履修することが推奨される。



心理学科

目指す職業と履修モデル

1 スクールカウンセラー・心理臨床カウンセラー

(資格：公認心理師^{*1}・臨床心理士^{*2})



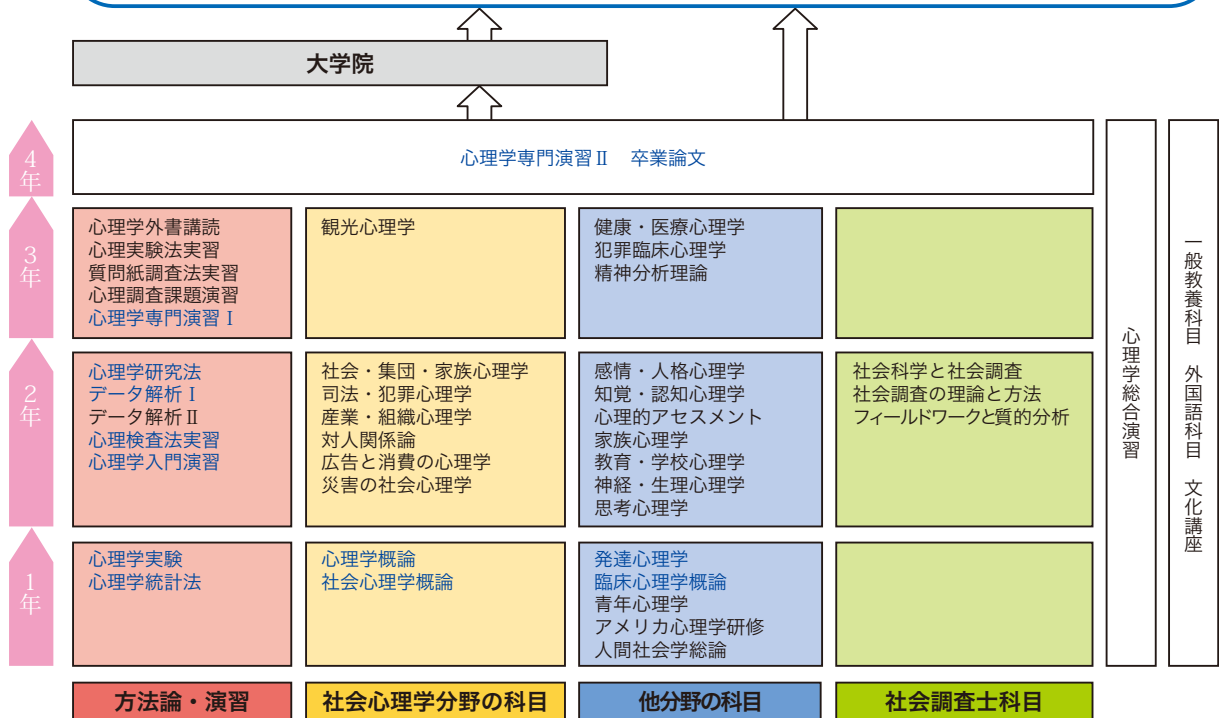
*1 大学院修了後、あるいは2年以上の実務経験後に公認心理師試験受験資格を取得

*2 大学院修了後、臨床心理士試験受験資格を取得

(青字は必修科目、黒字は選択科目)

2 消費者マーケティング・商品企画

(資格：社会調査士・認定心理士(心理調査))



(青字は必修科目、黒字は選択科目)

心理学科

3 こども関連(おもちゃ・教育・こども服等)

大学院			↑		
大学院			↑		
4年	心理学専門演習Ⅱ 卒業論文			心理学総合演習	一般教養科目 外国語科目 文化講座
3年	心理学外書講読 心理演習 心理実験法実習 質問紙調査法実習 心理調査課題演習 心理学専門演習Ⅰ		健康・医療心理学		
2年	心理学研究法 データ解析Ⅰ データ解析Ⅱ 心理検査法実習 心理学入門演習	教育・学校心理学 家族心理学 障害者・障害児心理学	感情・人格心理学 知覚・認知心理学 心理的アセスメント 社会・集団・家族心理学 学習・言語心理学 精神疾患とその治療 精神医学 神経・生理心理学 思考心理学 広告と消費の心理学		
1年	心理学実験 心理学統計法	心理学概論 発達心理学 乳幼児心理学 児童心理学 青年心理学	社会心理学概論 臨床心理学概論 アメリカ心理学研修 人間社会学総論		
	方法論・演習	発達心理学分野の科目	他分野の科目		

(青字は必修科目、黒字は選択科目)

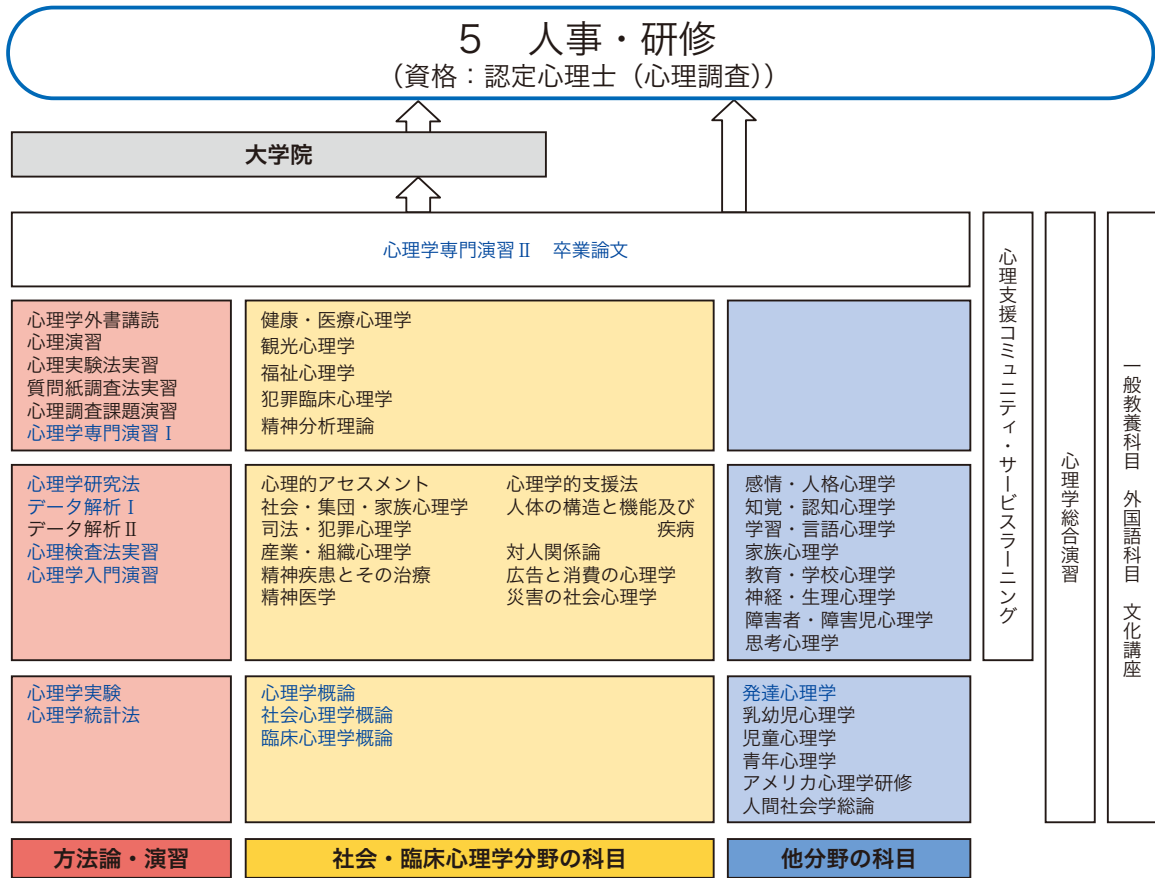
4 製品開発・システム開発

(資格：認定心理士(心理調査))

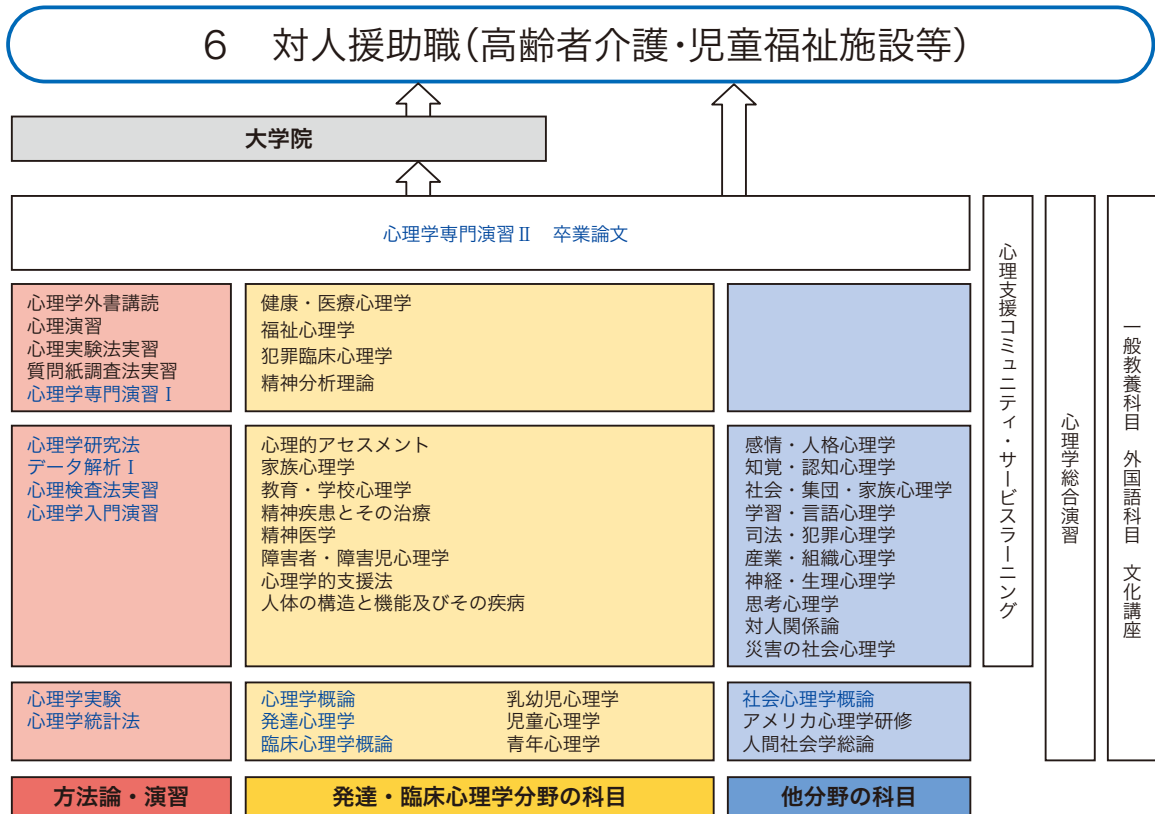
大学院			↑		
大学院			↑		
4年	心理学専門演習Ⅱ 卒業論文			心理学総合演習	一般教養科目 外国語科目 文化講座
3年	心理学外書講読 心理実験法実習 質問紙調査法実習 心理調査課題演習 心理学専門演習Ⅰ		健康・医療心理学 精神分析理論		
2年	心理学研究法 データ解析Ⅰ データ解析Ⅱ 心理検査法実習 心理学入門演習	感情・人格心理学 知覚・認知心理学 学習・言語心理学 神経・生理心理学 思考心理学	心理的アセスメント 社会・集団・家族心理学 家族心理学 対人関係論 広告と消費の心理学 災害の社会心理学		
1年	心理学実験 心理学統計法	心理学概論	発達心理学 社会心理学概論 臨床心理学概論 乳幼児心理学 児童心理学 青年心理学 アメリカ心理学研修 人間社会学総論		
	方法論・演習	認知心理学分野の科目	他分野の科目		

(青字は必修科目、黒字は選択科目)

心理学科



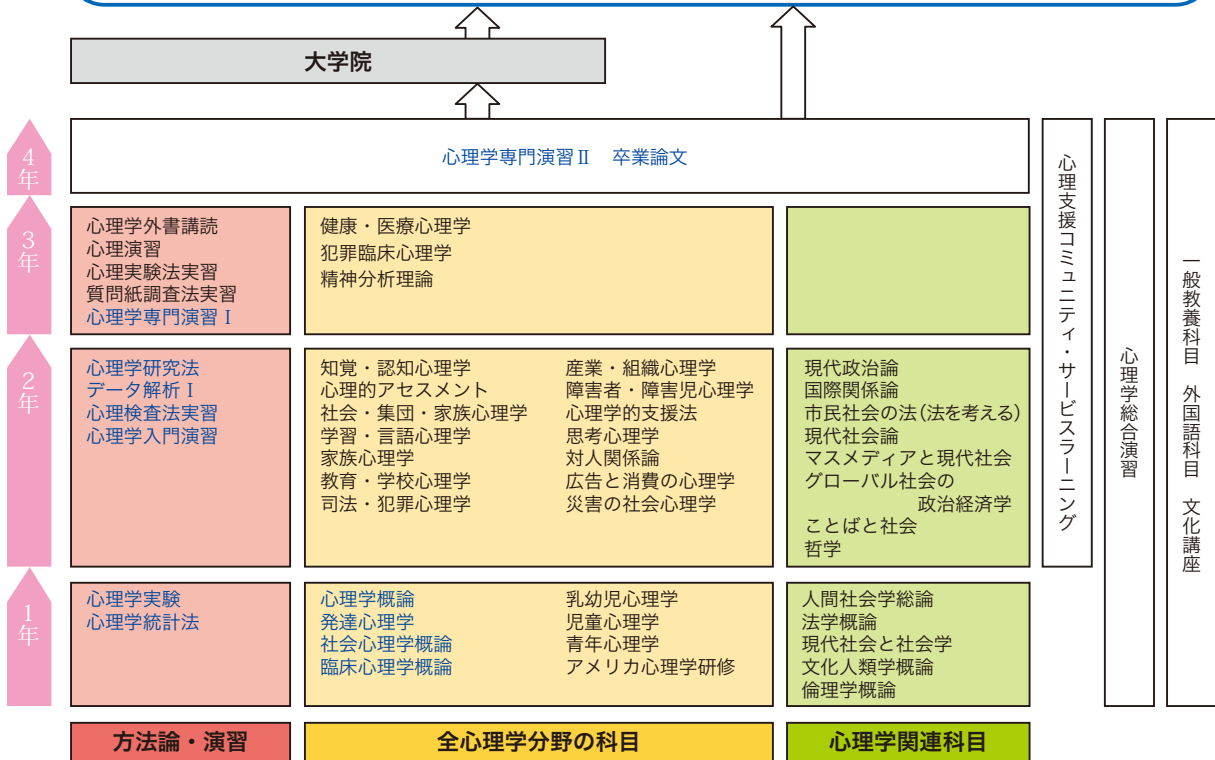
(青字は必修科目、黒字は選択科目)



(青字は必修科目、黒字は選択科目)

心理学科

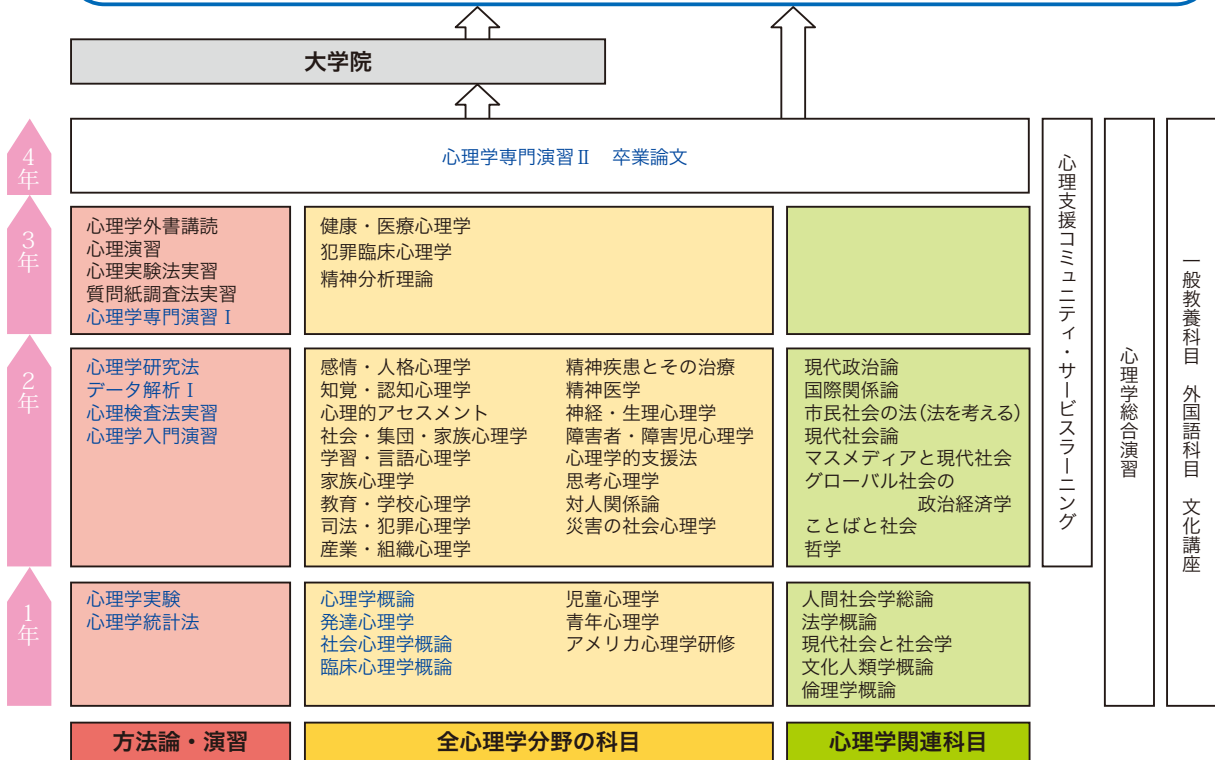
7 高等学校教員(公民)^{※3}



※3 学部卒業時、教員職員免許状(高等学校公民)を取得

(青字は必修科目、黒字は選択科目)

8 心理系公務員



(青字は必修科目、黒字は選択科目)